

CASE 2 (北海道 大嶺不二男さん)

▶ 土づくり : 土壌の物理性の改善



排水不良 (2012)

イメージ図



サブソイラー

※SUGANOホームページ引用



タマネギ



雪下分解



緑肥：エンバク



土壌構造を壊さないよう浅耕



病害虫への対応

CASE 3 : (秋田県 大潟村)

ニンニク栽培における害虫発生

害虫名	発生条件	発生しやすい環境	対応
ネギカ	春から収穫期 まで年2回発生	多肥で産卵増加 梅雨明け高温乾燥で増加	植え付けを遅らせる 多肥栽培を控える
ネギI	11月頃	魚糞、鶏糞や未熟な堆肥に誘引 湿気のある土壌に産卵 低温乾燥	植え付けを遅らせる 生の有機質資材、未熟な堆肥 を控える すき込みは植え付けの1ヵ月 前に行う
ネギ病 ネギアブラムシ	4月発生 最盛期6月 10月再度増加	ネギアブラムシでネギ萎縮病ウ イルスを媒介 乾燥が発生を増長 日当たりの悪いところに発生	植え付けを遅らせる 窒素過多に注意 できるかぎりアミノ酸系の有 機質資材は使わない 障壁作物の利用
ネギアミマ	4月上旬 最盛期6-8月 小麦収穫時期 に飛来	高温少雨 乾燥、風当たりの弱いところ 窒素過多、リン、カリの低い圃 場	植え付けを遅らせる 土壌診断にもとづいた施肥を 行う 畑の乾燥を防ぐ 障壁作物の利用
ネギカサ チウ	生育初期 収穫期	未熟堆肥で誘引する傾向がある	植え付けを遅らせる 種を温風乾燥 温湯処理47℃25-30分

病害虫への対応

土づくりの見直し

ほ場の土の
現状を知る

- ✓断面調査
- ✓土壌分析
- ✓植生

作物の根伸
びを調べる

施用有機物の見直し

- ・種類
- ・施用法など

自然観察

①栽培の見直し

- ・品種
- ・回避(適地適作)
- ・混作
- ・共栄作物・忌避植物等の利用

②環境づくり

